

次代を担う芽を育み、人とまちの成長を見守り続けた“心のふるさと”「大崎幼稚園」

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNA（原風景）を訪ねる『おさき今昔物語』。

その第二十三話は、終戦後の焼け野原を走り回る幼児たちの姿を見て、次代を担う子供達の芽を健やかに伸ばしてあげたい、と願った

創設者夫妻の思いから生まれた「大崎幼稚園」の話。その貴重な自然環境や代々の園長の思いと共に、当園は“大崎の心のふるさと”として地域の中に生き続けています。



History これまでの歩み

- 昭和28年 2月5日認可、3組で開園(園長寺井ミヨ氏)
- 昭和30年 この年より35年、37年、39年、42年と園児の増加にともない保育室1室ずつ増築、8組となる
- 昭和34年 寺井政次氏園長となる(式地423m拡張) 寺井政次氏、区議会議員に当選、三期を務め、大崎の地域発展と教育行政に注力した(一二三町会会長も勤める)
- 昭和38年 園歌制定(作詞:古関吉雄、作曲:福直直) 五月会発足(保護者会OB会)
- 昭和47年 職員室、応接室を大規模増築補強
- 昭和53年 保育室2、会議室等、南側に新築
- 昭和57年 小川文部大臣他、諸氏の視察を受ける(※下写真説明参照)
- 昭和58年 創立30周年記念式を行う(記念の園旗受納)
- 昭和59年 11月、寺井政次園長逝去、寺井ミヨ園長へ
- 平成4年 園舎内外の補修及び改築
- 平成5年 創立40周年、五月会創立30周年の集い
- 平成10年 3月31日、寺井ミヨ園長を退き、相談役となり、4月1日、寺井正一園長となる
- 平成15年 2月6日、創立50周年記念式を行う
- 平成15年 2月15日、創立50周年、五月会創立40周年を祝い集いを行う
- 平成19年 8月11日、寺井ミヨ相談役逝去
- 平成24年 9月、全園舎耐震補強完了
- 平成30年 2月3日創立65周年記念式を行う



昭和48年頃の園庭から見た園舎。この頃から保育室などの大規模な増設が始まる



創立当時の園庭で遊ぶ子供たち。当時の園児は約110人ほど



昭和43年当時の職員。中央は創設者寺井政次氏、右は芳水小学校の教職を経て、後に園長として子供達へ献身的な愛情を注いだ“大崎の母”寺井ミヨ氏



小川文部大臣、鈴木都知事、多賀区長、石原慎太郎諸氏の視察を受ける



園庭に咲く桜の下でのお花見弁当



大崎のまちの中に息づく豊かな自然と、土の庭で子供達の生きる力が育まれていきます。 裸足で相撲をとっても大丈夫な、広い土の園庭で練習してきた組体操。本番は芳水小学校の校庭で(平成15年頃の運動会) 創設当時より続く、園児のお母さんによる仮装の催し



寺井 正一 現園長
雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

創設当時、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

雨が降ると樽やバケツで傘の代わりにしたことから、園庭に植える植栽をリヤカーで貰い受けたことや、オルガンがなくて借りて演奏したり、

東京都公認 大崎幼稚園
〒141-0032 東京都品川区大崎3-11-1 TEL.03-3491-5731



発展めざましい副都心大崎にありながら、貴重な土の園庭。周囲に植えられた桜や桃、ざくろ、もみじなど、四季を彩る豊かな自然も、子供たちを温かく包み込みます。泥や自然に触れながら学ぶ、多きを唱え続けた創設者の献身の歴史がありました。

人生に必要な知恵は、すべて幼稚園の砂場から学んだ